

令和7年度 珠洲市立蛸島小学校 中期学力向上プラン

年間のゴールの姿

対話を通しての「分かった」「できた」を目指し、自分の考えを分かりやすく表現できる。

1 授業づくり

(1) 現状と課題 (R)

児童の課題	現状と要因・根拠となるデータ
適切な図・式・言葉を用いて、相手に分かりやすく伝えるための力が不十分である。	<p>[現状と要因]</p> <p>○スッキリボード・モヤットボードを活用したり、ヒントカードやデジタル教科書、既習掲示などの様々な手立てを準備したりすることで、図・式・言葉を用いての簡潔な説明や児童の対話につながってきた。</p> <p>▲スッキリボード・モヤットボードが答えそのものや、やり方の確認になり、内容が深まらない場面があった。→教師が誤答に目を付けたり、他の数字で考えさせたりとねらい達成につなげる問い返しをする必要がある。</p> <p>▲児童のねらい達成の姿が曖昧なため、適切に見取ることができていない場面があった。→全員のねらい達成に向けての教師の働きかけや問い返しがイメージできるように、児童のねらい達成の姿を明文化することが必要である。</p> <p>・R7 前期：検証問題67％、ノート検証85％、アンケート82％</p> <p>・R7 全国学力調査 算数3(2)40％ 3/4+2/3を考える際、単位数やそれがいくつ分になるかを記述する。</p> <p>・R7 6年全国学力調査質問紙 「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができている。」(強肯定80％)</p>

(2) 計画と実行 (P・D)

具体的取組	評価項目	評価
<ul style="list-style-type: none"> 理解やつまづき等個々の学習状況に応じた手立て(ヒントや発展問題など)を複数準備する。 スッキリボード・モヤットボードの内容を基に、児童の考えを問い返し、ねらい達成につなげる。 	<p>実施検証・研究授業</p> <p>「学習状況に応じた手立てを複数準備する。」(100%)</p> <p>「ボードの内容を基に問い返し、ねらい達成につなげる。」(100%)</p> <p>成果検証「自分の考えを分かりやすく表現している。」(90%)</p> <p>「対話の中で質問や意見を述べている。」(80%)</p> <p>児童アンケート「対話の中で、質問をしたり、意見や感想を言ったりすることができた。」(90%)</p> <p>全校検証問題「自分の考えを分かりやすく表現している。」(85%)</p>	<p>100%</p> <p>89%</p> <p>80%</p> <p>94%</p> <p>98%</p> <p>71%</p>

(3) 検証と改善 (C・A)

月	評価方法(誰が、いつ)	結果	取組の成果○・課題▲
9	授業評価表(授業者 9月30日)	88%	<p>○学習状況に応じた手立てを考えることで、児童が自分で考えやすい手立てを選ぶことができるようになってきた。</p> <p>▲問い返しが児童のねらい達成につながらないことがあった。(→話し合う視点やボードに書く内容のイメージを持たせる。)</p>
10	授業参観シート(全員 7日) 授業評価表(授業者 31日) 児童アンケート(学担 30日) 検証テスト(学担 27日)	100% 89% 100% 60%	<p>○話し合いやボードに書く内容を児童がイメージできるようになってきた。</p> <p>▲キーワードを使おうとしているが、理解が曖昧で正しく使えていない時がある。(→スッキリ・モヤットボードや自分の考えを表現する時、キーワードを使って理由や根拠を明らかにする。)</p>
11	授業参観シート(全員 19日) 授業評価表(授業者 28日)	33% 87%	<p>○授業者はつまづきに対応するために、ねらい達成に適した手立てを準備できるようになった。</p> <p>▲何について対話するのが明確ではない。(→モヤットや誤答から「分かった」を導くための効果的な対話を行う。)</p>
12	授業評価表(授業者 18日) 児童アンケート(学担 15日) 検証テスト(学担 15日) 教師アンケート(全員 19日)	94% 96% 82% 95%	<p>○授業者がねらい達成につながる問い返しを行うことが定着してきた。</p> <p>▲教師が用意した手立てやヒントを児童は活用することができない時があった。(→他の児童に分かりやすく説明し、自分も周りも納得させる手段として使用させる。)</p>

取組の成果○・課題▲

○児童のねらい達成の姿を明文化することで、児童の曖昧な発言に対して問い返したり、適切な図・式・言葉を用いて分かりやすく表現したりすることにつながってきた。

▲一人一人のスッキリ・モヤットの内容が不明瞭だったので、対話での「できた」「分かった」につながりにくい場面があった。

2 基盤づくり

目標	具体的取組	評価
相手に分かりやすく伝わるように、積極的に質問や意見、感想を言うことができる。	<ul style="list-style-type: none"> 学習リーダーを育成する。 100文字作文を全校で交流・振り返りをする時間を設ける。 10月と12月にアンケートを実施し、授業改善に生かす。 	○